

〇2回目のプロジェクト会議を経て、3回目のプロジェクト会議を9月1日15時00分から個別学習室Bで実施した。以下にその時の会議録を示す。

※前回の議論を受けて、以下のように改定内容の確認を先に行った。

(1)靴下の規定について

- ①色……黒、紺、灰色、白
②その他…基本は無地とし、ワンポイントは可とする。

「派手でないもの」という文言を削除

(2)靴

- ①体育の授業に使用できる運動靴とする。

白を基調とするを削除

(3)登下校の服装について

- ①登校は原則として制服とする。ただし、下校は制服か体操服を選択する。特別日課や強風の場合は、体操服の指示がある。また、登校時に雨や風の強い場合は、体操服での登校を認める。

(4)リボンやネクタイをつけたいという意見に対して

- ・制服のオプションとして、リボン、ネクタイが可能かどうか、業者に聞いてみることになった。もし可能の場合、登下校や授業はリボン、ネクタイをつけることは可とするが、行事については、リボン、ネクタイを外すこととする。(ただし、入学式については、リボン、ネクタイをつけても良しとする)これらは、リボン、ネクタイを買わない家庭への配慮である。

(5)ベストについて

- ①気温に合わせて、紺色、黒色、白色、クリーム色、茶色、深緑色などのベスト、セーターを着用可とする。

1 議論されたこと

(1) 服装に関することの「中学生らしい」という文言について

「中学生らしい」という表現が抽象的でわかりにくく具体的でないため混乱をまねる。その前にある文章の「公の場にふさわしい」という文言があれば、学習の場にふさわしい服装となるため、「中学生らしい」という文言は削除する。

(2) 頭髪について

上記の理由で、頭髪についても「中学生らしい」という文言を削除し「学校生活に支障をきたさない頭髪とする。(パーマ、染色は禁止)」とする。

(3) 体操服について

夏期は、かぜによる体調不良を除いて半袖・ハーフパンツとする。冬期は、自分の判断で体操服の上下を着用する。

※土日・長期休業中の部活動は体操服を基本とするが、部で統一したトレーニングウェア、ユニフォーム、ウインドブレーカーを着用してもよい。

(4) 登下校について

- ①は上記に示す通り

②寒さが厳しい時期(12月～2月)は、自分の判断で防寒具を着用してもよい。

削除

(5) 持ち物について

・補助バックは、ナップランドに入りきらない場合は、派手でない補助バックを使用する。

あいまいな表現なので削除する。

理由：現在使用している補助バックは、小学校の修学旅行で使用したものがほとんどであり、色を指定すると、改めて購入しなければいけなくなるため、色の指定をやめ、現在使用しているバックを継続して使用できるようにしていく。

・キーホルダーの規定はそのままよい。

(6) 欠席・遅刻・早退について

・そのままの規定でよい。

(7) 校内での着替えについて

・そのままの規定でよい。……ただし、ジャージは体操服という表現とする。

※男子更衣室の「選択教室A」にカーテンがないのは、如何なものか？是非、カーテンをつけてもらいたい。……<この後、2学期からカーテンが設置された。>

(8) あいさつ・マナーについて……一部の意見「心通う」という表現はいるのか？

・そのままの規定でよい。

※ただし、教師側からこの項については、削除したい内容がある。

(9) 校舎・校具の使い方について

・そのままの規定でよい。

(10) 休み時間の過ごし方……一部の意見として昼休みをもう少し長くしてほしい

・そのままの規定でよい

(11) 放課後の生活について

・そのままの規定でよい

※ただし、教師側からこの項については、削除したいと考えるが

2 その他

当初、プロジェクト委員から集めた意見の中で、検討しより良い回答がなされていなかったものに、「私服」の取り扱いがあった。そこで、私服について課題を提示したところ、6名中5名が、制服で学校生活を送ることについて、特別、課題を持っているわけでもないし、逆に、私服となった場合、どのような服をチョイスするかという問題で、毎日ストレスを抱えなければならなくなるため、私服での登校は、やめてもらいたい。という意見が6分の5であった。唯一1名、1年生が、自分は私服での登校がいいと思う。儀式などの時は制服に着替えるという方法もとれるので、私服で登校も考えてもいいかと思う。とのことだった。ただ、他の生徒から、そのようになると、制服を着る機会が減り、費用対効果がなくなってしまうと反対の意見が出された。そこで、教師側から、私服について否定的な理由が、チョイスするセンス、あるいはコーディネートすることに自信がないということであるが、社会に出た時、それは必要な資質ではないか。中学校でその資質を向上させることから逃げるのであれば、いつその資質を磨いていくのか。という質問をしたところ、確かにそれは言える。……がしかし。毎日。ということであっ

たので、教師側から、3年生の委員に「では、修学旅行の時だけ私服にする」という案ではどうかと提案をしたところ、「是非、実現してもらいたい」とのことであったので、今後、3年部の中でこの点について議論してもらい結論を出していく。なお、2年や1年の委員からも、その案に賛成したい。1,2年生の間で、服をチョイスするセンス、コーディネートセンスを勉強して、3年生の修学旅行の時に表現する。そんな風に考えていきたいとの意見であった。

＜12月の修学旅行では、1日目は見直しをした制服を着用し(リボン、ネクタイ)、2日目は私服となった。＞

3 今後の予定

(1)スラックスとリボン、ネクタイの試着の日を生徒が案を作る。試着する部屋は個別学習室Bを使用する。(なお、試着の日には、静岡新聞が取材に来る。試着後の様子を集会ルームで撮影する)

(2)次回9月8日(水)15:00～は、豊根中学校の2年生(新生徒会)と「校則の見直し」について遠隔(学習)交流をzoomで実施する。

その際には、各委員がそれぞれ制服、校則の見直しされたものについて、役割分担して、豊根中学校に説明をした。

